

エムズICD中継ターミナル 概要

山梨県南アルプス市上今諏訪343



エムズ物流株式会社

Produced By ロジテクノサービス株式会社



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

■ 物流における2024年問題の課題、エムズが取り組む解決策！

2024年問題は物流業界に大きな影響を与える深刻な問題であり、働き方改革関連法の施行によって起こる様々な問題の対策が急務となっており、近い将来荷物を運べない状況になりうるかもしれないと危惧されております。

長時間労働が常態化している一方で、慢性的なドライバー不足や高齢化が深刻化しており、なかでも海上コンテナの長時間労働が常態化する要因としては、長距離輸送やCY混雑による待機、納品先での待機等も慣習になっているのが現状です。

2024年4月から適用されることで、人材確保は喫緊の課題となり、ドライバーの収入減少や物流業者の売上低下なども懸念されております。

エムズ物流は物流効率化を目指し、長時間労働を抑制するため荷役の待機時間を改善できるよう取り組み、顧客様にもご協力を頂き、更に関係企業様と連携できる仕組みを構築するため、海上コンテナデポを併設した国内外貨物を取り扱う中継ターミナルを開設しました。国内物流が次々に中継ターミナルを作る中、海上コンテナという国際貨物を取り入れた物流中継施設が少ないことに懸念を抱き、関東甲信越を中心に多様に対応できるICD中継ターミナルを作り、2024年問題を共に乗り越えて行けるターミナルを目指します。

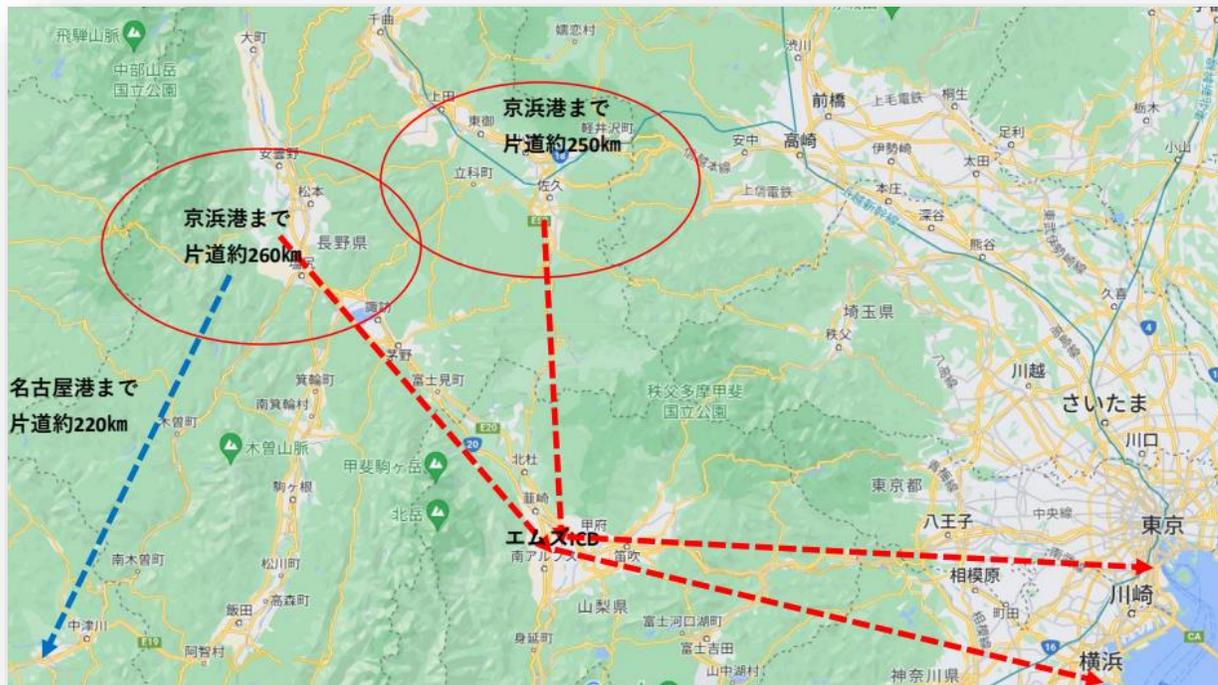
■ エムズが取り組むカーボンニュートラルとは

世界的な枠組みのなか日本では、2050年までにカーボンニュートラルの実現を目指すことが宣言され2021年10月には「地球温暖化対策計画」と「第6次エネルギー基本計画」が閣議決定されています。

「2050年カーボンニュートラル」の実現に向けて、2030年度までに運輸部門が対応すべき目標と具体的な取り組みが記載されているなか、運輸部門は、他部門に比べてCO2削減の取り組みが遅れているうえに、CO2排出量が全体の22%を占めている部門となっています。

エムズ物流は、物流効率化を目指し、国内物流の共同配送や混載など空きスペースの有効活用でトラックの台数を減らし、海上コンテナでは空コン輸送を削減したCRUという仕組みを使い、ICDを活用することで更にCRUを増やし、大幅なCo2削減に貢献できるよう、関係企業や自治体などと連携し効率的な輸送や物流に向けた取り組みが可能なターミナルを実現しました。環境問題に配慮しSDGsに取り組めるターミナルを目指し、持続可能な物流をご提案していきたいと存じます。

中継地ターミナルとしての利便性



ICDを併設した中継地ターミナルの役割 / 現状と課題

■ CRU（コンテナラウンドユース）に関しては……

* 1R輸送のなかで、空コンテナの輸送が当然で、無駄な長距離輸送によりCo2排出増や、港湾混雑待機による長時間労働等の課題が多い。
⇒課題：空コン輸送を減らしCo2を削減し、2024年までに労働時間短縮や深刻化しているドライバー不足を解消しなければならない
また少ないドライバーで効率的な運行計画をして、生産性も上げていかなければ輸送会社の負担が多く更に状況は悪化する

■ コンテナ保管に関しては……

* 輸出貨物はヤードOPEN前に行き場がなく生産調整や倉庫調整も困難でドレージ会社がオンシャーシ保管することもある、
また輸入貨物は倉庫調整が困難なこともあり、CYで保管調整することで滞留しCY混雑の要因にもなっている。
デマレージコストの負担も大きく、今後もFT短縮やデマレージ料金も高くなっていくリスクもある。
⇒課題：輸送会社の車両保管等の負担による稼働率低下やコスト増を抑え、公共の保税エリアであるCY滞留による混雑を解消し待機時間を減少させなければならない。

■ 中継地ターミナルに関しては……

* 公共的に利用できる内陸デポ(ICD)や海上コンテナに対応した中継地が少なく、東西の中心である甲信越エリアにはない。
⇒課題：多くの荷主様や物流に有効な、各エリアを繋げるための中継地としてICDを併設させた作業や倉庫対応ができるターミナルが必要
* 2024年問題を目前に海上コンテナは中継輸送ができず、1Rの距離が長い納品は長時間運行をおこなっている
⇒課題：ICDでコンテナのみ一時保管して中継できる、ICDを設置し、輸送を分割して運転手の負担を軽減しなければならない

■ BCP対策：南開トラフ等の地震や災害が迫っている中、物流網を確保するための海上コンテナ輸送も含めた回避策は……

* CYターミナルのクローズや、大規模災害時の物流崩壊を回避するための、中継地として輸出入コンテナを一時保管できる場所がない
⇒課題：各エリアを繋ぐ国内物流の中継地だけでなく、海上コンテナも対応できる中継地としてICDを増やすこと

■ SDGs：働き方改革、環境問題が主になる物流業界の課題について改善策の取り組みは……

* 海上コンテナ輸送においては特に、2024年問題等の働き方改革に向けた改善の取り組みが乏しい
⇒課題：2024年待たずに各エリアにICD/中継地を設置し、地域の自治体や関係企業様のご協力や連携が必要になる

ICDを併設した中継地ターミナルの役割 / 目的と効果

■ ICDを活用したCRUのご提案

★目的：

・ICD活用でマッチングを増やし、より多くの空コンテナ輸送を減少させ、Co2削減で環境保全、省力化でドライバーの負担とドライバー不足を緩和し

効率的な運行計画をすることで、運行時間の軽減や2024年問題に対応し、回転率や生産性を上げ、輸送にかかるコストも軽減する

★効果：（山梨県南アルプス市：京浜港から片道約150km(往復300km)、更に長野方面は130km(往復260km) 延長で計560km)

・CO2削減：日当/輸入1本・輸出1本を、CRU/1本にすると年間75.6t（40.7%）削減することができる。

※京浜港から南アルプス市まで、75.6tとは、杉の木約9ヘクタール分(5367.6本分/東京ドーム約2個分) が年間に吸収する量

・省力化効果：年間(CRU1本/日) 2,640時間（50%）の運転時間を削減

■ コンテナ保管のご提案

★目的：内陸のCYとして、輸出入コンテナの一時保管することで、港湾の混雑緩和や荷主様の入出庫調整を柔軟にする

★効果：公共の保税エリアである港の本来の機能が正常化し、内陸保管することで荷主様へのリードタイムも短縮でき、デマレッジ等のコストも削減

また2024年4月以降に規制強化された際に、港湾混雑で前日ピックが困難なリスクを前々日ピック～保管し、安定してデポから搬出

■ 中継地のご提案

★目的：各エリアを繋ぎ中継できるターミナルとして機能させ、コンテナや貨物を一時保管や積み替えし、輸送を分割する

★効果：中継に有効な立地から、各エリアの物流中継が可能となり、1車の労働時間を抑制でき2024年問題に対応できる

★目的：中継地として国内貨物や、輸出入コンテナを一時保管し、他エリアへの輸送や別の港に輸送する

★効果：中継輸送のほか、BCP対策として内陸で中継することで回避できる可能性が高い

CRU/マッチングを増やすには！？

ICD業者が主導し、効率良く、かつ柔軟に対応できる運営をすることで、マッチング率が上がる！
マッチングが大変！ 輸出と輸入のバランスが大変！ 船社マッチングが大変！

- ⇒そもそも、全体の輸出入の割合が約7：3(輸入：輸出)とアンバランスなので、先ず輸出を確保し、輸入をマッチングしていく。
- ⇒各船社のマッチングできる期間を活用し、なるべく多くのCRUを実現する (軌道に乗れば約2週間以内で回転する)
- ⇒各船社と契約し、デポイン/デポアウトでき、貨物情報が漏洩しないよう自社EIRを発行して管理する
- ⇒デポではなく、オンシャーシ保管でのCRUは困難、誰がチェックする？ 誰が責任取る？ 誰がシャーシを停めて保管する？
- オンシャーシでCRUすると、シャーシ数・シャーシ置場のコストがかかり過ぎで、車両稼働率が悪すぎるので輸送会社は負担が大きすぎます
リスクや負担が大きすぎて、管理も円滑にいきません。なのでデポが管理し、ハンドリングすることでマッチングUP！

ICD所在地

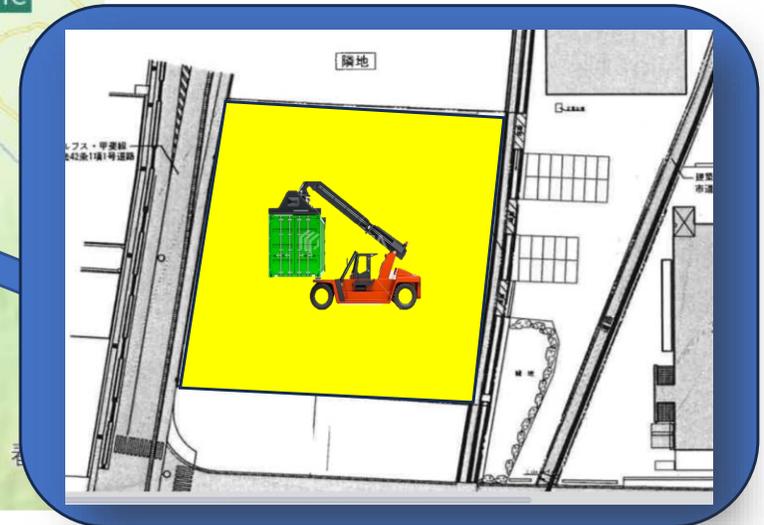
開国本店：山梨県南アルプス市上今諏訪343



* 甲府昭和ICから7分・約3.5km

* 白根ICから6分：約2.5km

* 甲府南ICから25分：約13km



ICD/施設概要

開国本店：山梨県南アルプス市上今諏訪343

*リーチスタッカー1台

(実コンテナ・空コンテナ対応可)

*フォークリフト、クレーン車3台所有

*コンテナチェック場/チェッカー人員

(雨天時、夜間時対応可)

*24時間対応予定

*セキュリティ設置予定(カメラ他)

(24h警備員も巡回してます)

*REF電源設置/モニタリング可

(地元電気業者と連携した体制)

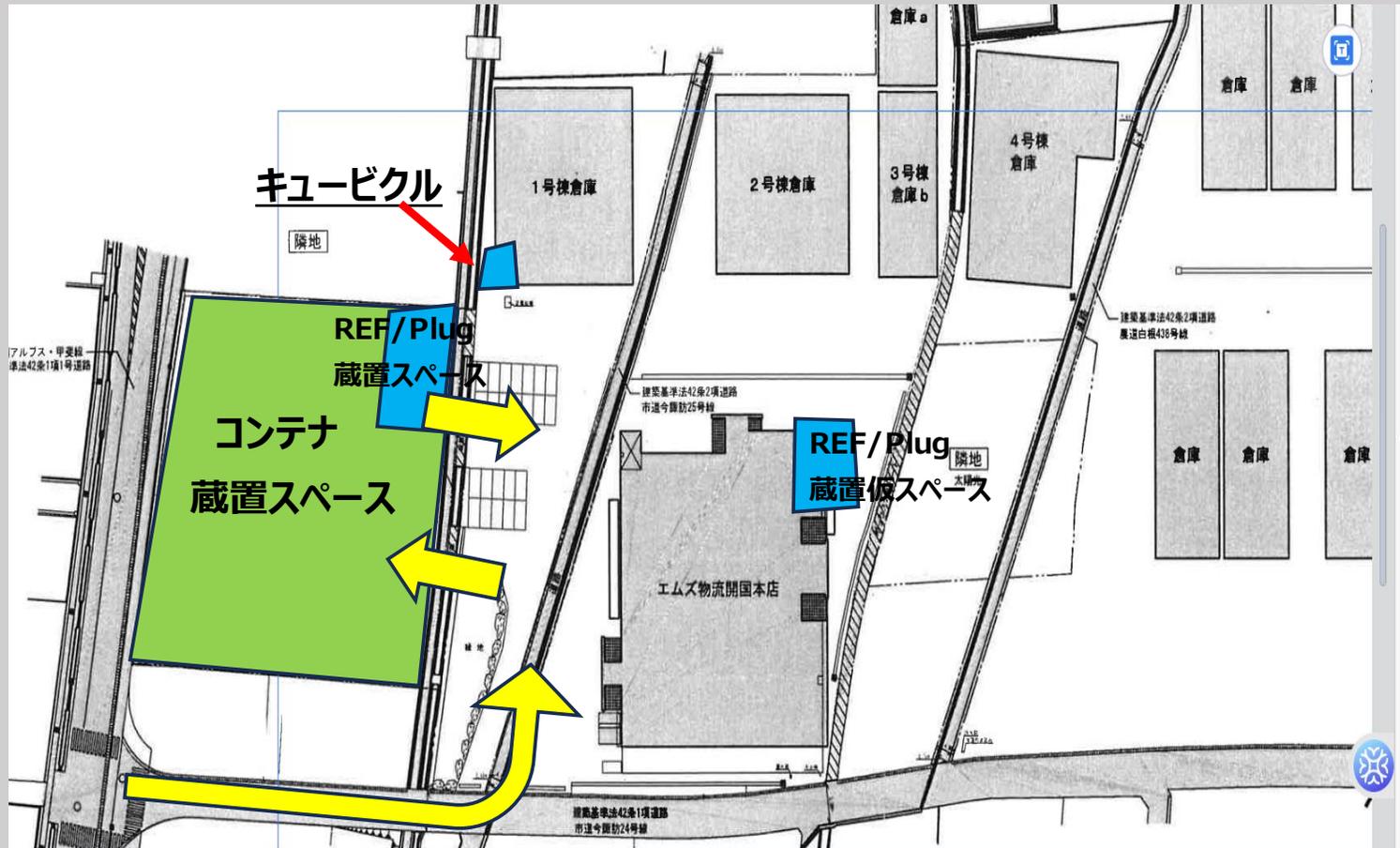
*倉庫保管/荷役作業

*デバンニング施設(梱包作業可)

*保税許可検討中

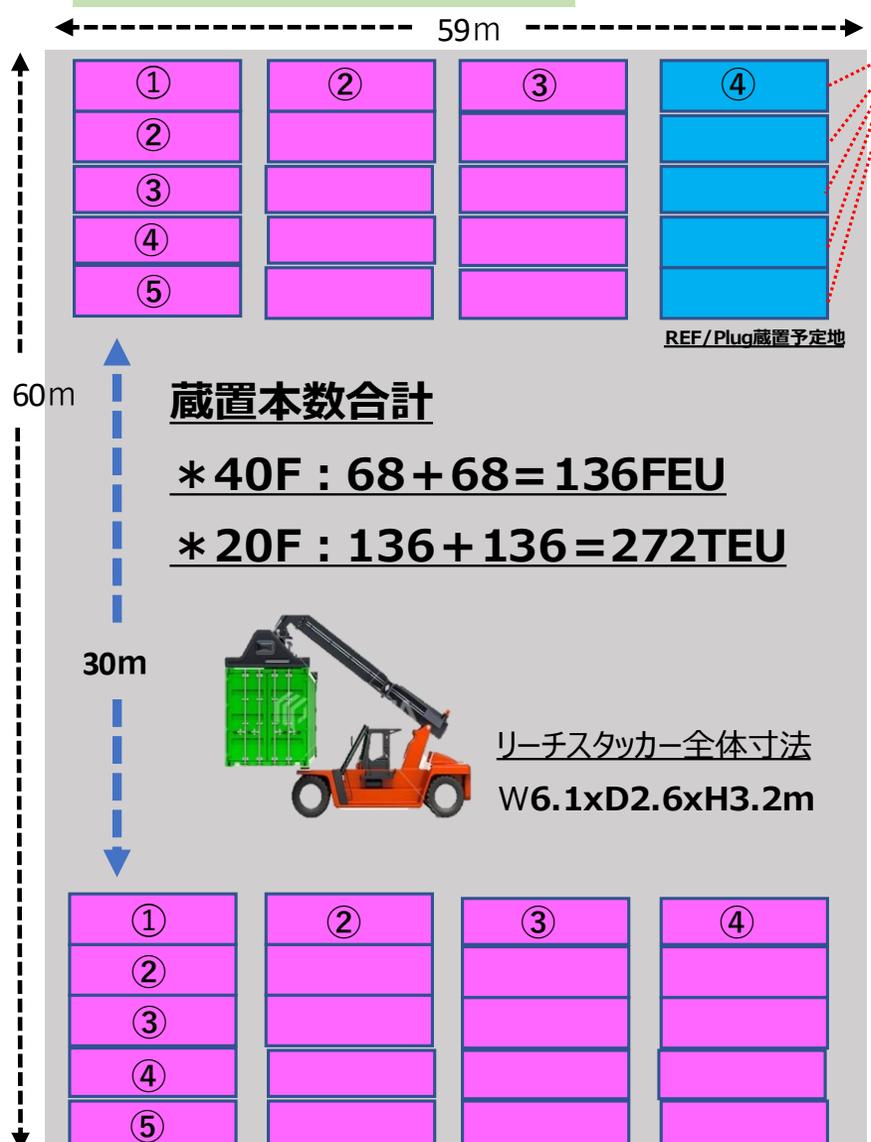
*危険品未定

★各船社デポ契約



ICD コンテナ蔵置イメージ

面積3,540m²(1,072坪) = 縦60m × 横59m



蔵置本数合計

* 40F : 68 + 68 = 136FEU

* 20F : 136 + 136 = 272TEU



リーチスタッカー全体寸法
W6.1xD2.6xH3.2m

- ← 2段 = 2段 × 4列 = 8本
- ← 3段 = 3段 × 4列 = 12本 **20F/136TEU**
- ← 4段 = 4段 × 4列 = 16本 **40F/68FEU**
- ← 4段 = 4段 × 4列 = 16本
- ← 4段 = 4段 × 4列 = 16本

- ← 4段 = 4段 × 4列 = 16本
- ← 4段 = 4段 × 4列 = 16本 **20F/136TEU**
- ← 4段 = 4段 × 4列 = 16本 **40F/68FEU**
- ← 3段 = 3段 × 4列 = 12本
- ← 2段 = 2段 × 4列 = 8本



リーチスタッカー
吊り上げ能力 45t



船社デポ契約 現在6社

他船社交渉中



エムズICD「ターミナル」の付加価値

① 輸送

重量物輸送、大型トレーラー、各種大型車両、4t、海上コンテナ

② 倉庫業

営業倉庫、定温倉庫(空調温度管理)、天井クレーン5.5t

③ 重量物の取り扱い

50t~220Tまでのクレーン作業、特殊重量物の輸送、設置作業

低床トレーラ

高床、中低床トレーラ



大型車/ウイングトレーラー



海上コンテナ輸送



作業



重量物 クレーン作業

80t



220t



50t



デバン、バンニング施設 倉庫保管



天井クレーン付の倉庫

定温/空調管理できる倉庫